

参加チーム各位

第30回全日本学生ライフセービング選手権大会

実行委員長 丸田 重夫

### 第30回全日本学生ライフセービング選手権大会「BLS アセスメント」について

第30回全日本学生ライフセービング選手権大会における「BLS アセスメント」の実施方法、採点基準、およびG2010フローチャートを別紙の通りとしますのでご確認ください。

#### 記

##### ■ 実施方法

1. BLS アセスメントは、各チーム（男女別）の出場登録されている選手から抽選により2名選出される。出場登録選手が1名の場合は1名で競技を行うこととする。（評価補助員を競技者Bとして競技を行う）。
2. BLS アセスメントは参加必須種目とする。BLS アセスメントに出場しなかった場合、そのチームはチーム総合の表彰対象から除外される。また、BLS アセスメントの種目別表彰は行わない。
3. 選出された競技者の氏名は、競技が行われる日の午前7時30分に公式掲示板に掲示される。
4. 選出された競技者が、なんらかの理由（怪我・病気等）により出場できない場合、午前8時までにBLS アセスメント評価員に申し出なければならない。審判長がこれを認めた場合、残りの競技者の中から再抽選を行い、その場で競技者が発表される。競技は決勝のみとする。各競技者の判断で指定された時間内に競技会場に行き、受付を行った後、BLS アセスメント評価員の指示で競技を開始する。
5. 競技者が他の出場種目の進行状況により指定された時間内に「BLS アセスメント」競技を行えない場合、あらかじめBLS 担当審判員に申し出なければならない。原則として、事前の申告なしに指定された競技時間内に受付ができなかった場合、その競技者は失格となる。
6. 選出された競技者は、チームキャップ、チームユニフォームを着用の上、参加すること（水に濡れた状態や砂が付着した状態での参加は認められない）。
7. 他の種目と同様、両上腕側面に選手番号が記載された状態で参加すること。
8. CPR およびAED は、レールダル社製CPR 練習用人形およびAED トレーナーを用いて行い、意識なし、普段通りの呼吸なし、頸椎損傷なし、途中回復なしの成人に対する処置を行うこととし、吹き込みはフェイスシールドを使用する。（別紙G2010 フローチャート参照）。
9. 競技者A・競技者Bの指定に関しては、競技開始時にBLS アセスメント評価員より伝える。
10. 競技者は、競技開始前に人形およびAED トレーナーを使用して1分間の公式練習を行うことができる。公式練習中に器材の不具合が生じた場合は、速やかにBLS アセスメント評価員に申し出ること。
11. 競技の撮影については、競技後に各チームの振り返りやBLS トレーニングの参考目的であれば、チーム関係者に限り映像を撮影することを許可する。
12. BLS アセスメントの評価と得点に対する抗議は受け入れられない。
13. この他、なんらかの理由で競技に問題が生じた場合は、審判長が検討し対応を判断する。

## ■ 採点基準

CPR および AED の処置は、以下のポイントを BLS アセスメント評価員の目視によって採点する。

- ① G2010 フローチャート（別紙、参照）通り、正しく進められているか？
- ② 胸骨圧迫（心臓マッサージ）、気道確保、人工呼吸の手技は正しく行われているか？
- ③ AED は正しく扱われているか？

## ■ 評価と得点

競技者の CPR および AED の処置は、BLS アセスメント評価員によって、以下の 3 段階に評価される。  
また、得点は以下の通りとしチーム総合成績に加えらる。

評価	得点	内容
A	8 点	良い（3 つの採点基準が正しく行われていて、特に修正すべき点がない）
B	0 点	普通（3 つの採点基準が正しく行われているが、注意すべき点がある）
C	0 点	悪い（3 つの採点基準のうち、どれかひとつでも正しく行われていない）

※得点については一次要項の別紙で案内した通りとなります。

## ■ CPR アセスメントから BLS アセスメントへの表記変更について

平成 26 年 4 月 1 日より JLAACADEMY 資格認定講習会である CPR 講習会を BLS 講習会と名称を変更しました（資格名も同様に変更）。BLS とは CPR と AED を用いた一次救命処置（Basic Life Support）の略称です。

一次要項において『CPR アセスメント』と表記しておりましたが、今回の名称変更に伴い、『BLS アセスメント』と表記を変更いたします。